

令和3年度 さいたま市立泰平中学校 自己評価書

校長 _____ 鈴木 純 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

学校教育目標 「豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」

校訓 「礼を正し 場を浄め 時を守る」

目指す学校像 「季節の花と明るい挨拶にあふれ、生徒一人ひとりの夢と生きる力を培う学校」
—大好きTAIHEI—

目指す生徒像 「夢を持ち、生き生きと学ぶ生徒」

◇ 学校教育目標を達成させるための本年度の具体的な重点施策 (関係する「評価項目」番号)

- (1) 学校経営を充実し、その具現化となる学年・学級経営の充実を図る。(保1,2 生1)
- (2) 基礎学力定着の徹底を図り、確かな学力を身に付けさせるとともに、グローバル・スタディや潤いの時間をとおしてコミュニケーション能力を育成する教育を推進する。
(保3,4,5,9 生2,3,4,9)
- (3) 人に優しく人の痛みがわかる心を育てる教育と健やかな体をはぐくむ教育を推進する。
～いじめ防止推進と体力向上、生徒の安全・安心(保1,10,11,12 生1,8,10,11,12)
- (4) 生徒指導・教育相談体制、進路指導の充実を図りつつ、「学校における働き方改革」の視点から生徒と向き合える時間を確保し、個に応じた指導の充実を図る。
(保6,7,10 生5,6,10,14)
- (5) 教育環境の美化・整備の充実を図る。(保13 生7,15)
- (6) 地域・保護者との連携を重視した学校経営・学校安全を推進する。(保14,15)

2 評価結果について ※ () の数値は肯定的評価の割合を示す。

- (1) 「生徒が楽しく学校生活を送ることができている」(保護者 89.8% 生徒 94.1%)、「目標をもって学校生活を送っている」(保護者 76.8%)は、昨年度より 0.7~4.2 ポイント上昇している。
- (2) 「意欲的に授業に取り組む」(保護者 79.9%、生徒 91.5%)、「基礎学力が身についている」(保護者 70.9% 生徒 79.0%)、「わかりやすい授業」(保護者 83.0% 生徒 97.4%)については、昨年度より 0.2~5.0 ポイントの上昇がみられるが、生徒より保護者の肯定的評価の割合が低い。「家庭学習をきちんとしている」(保護者 62.5% 生徒 72.4%)は、保護者・生徒ともに最も肯定的評価の割合が低い質問項目となっている。
- (3) 生命尊重や健康・安全に対する質問項目は、生徒の肯定的評価が3年連続で 94%以上を維持している。
- (4) 規範意識に対する質問項目は、肯定的評価(保護者 96.6% 生徒 95.9%)が非常に高い。教育相談体制について「教師は悩みや相談事に親身に応じている」(保護者 81.7% 生徒 92.8%)について、保護者は 2.9 ポイント上昇したが、生徒は 0.6 ポイント下降した。また、生徒のみ行った質問項目のうち、学校給食(生徒 81.8%)は、8.2 ポイント下降、進路学習(生徒 90.5%)は、3年連続で肯定的評価が下降している。
- (5) 教育環境の美化・整備の充実は、保護者の肯定的評価が 92.3%、生徒が 94.9%であった。
- (6) 家庭への連絡や情報提供(保護者 91.0%)、地域との連携(保護者 94.1%)は、昨年度に比べ、2.8~3.9 ポイント上昇している。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

規範意識や教育環境の美化・整備に関する質問項目は、過去3年間、肯定的評価が9割を上回っており、落ち着いた学習環境のもと教育活動が展開されていることがうかがえる。また、緊急事態宣言に伴う教育活動の制約が解除された後のアンケートのため、やや好転的な回答が得られたものと思われる。ただし、給食での黙食や職場体験の実施方法の変更など、生徒への感染症対策の影響が結果として表れている。

今後は、基礎学力の定着に向けた家庭学習へのアドバイスや個に応じた指導について、ICTをより効果的に活用しながら、家庭との連携の充実を図ること、生徒や家庭により一層寄り添い、地域や関係機関と連携した教育相談体制を構築することが必要であると考えている。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。